

西南学院小学校 学校長メッセージ

「学校通信 Wings 2026 年 10 月号」



神があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。(ヨハネによる福音書 15 章 12 節)

【1年生の子どもたちのお祈り】 から

- てんのかみさま、こまっているひとやかぜをひいているひとのちかくでみまってください。いつもわたしたちのことをおみまもりくださり、ありがとうございます。
 - てんのかみさま、せかいじゅうがへいわでせんそうもひとつもないせかいになりますように。せかいじゅうのみんながえがおでいつまでもいられますように。
 - てんのおとうさま、かぞくがけんこうでしあわせていられますように。わたしたちのおねがいをきいてくれてありがとうございます。
 - てんのかみさま、くるしいおもい、かなしいおもい、つらいおもいをいまかんじているひとをいやし、みまってください。
- そして、今日けがなくいきでこれたことをかんしゃします。
- てんのかみさま、あたらしいのちをあたえてくださり、ありがとうございます。あたえられたいのちをたいせつにします。
- せかいじゅうのひとがしあわせになりますように。
- てんのかみさま、きょうもいつもまもってください。ほんとうにいちねんせいみんながわくわくのはなをさかせたいです。きょうもまもってくださってありがとうございます。

9月3日に行われた入試説明会で、入学して一年経っていない子どもたちのお祈りを紹介いたしました。説明会が終わった後、幾人かの方が私のところに来てくださり、「紹介されたようなお祈りを1年生ができるようになるのですか。」と驚かれていました。

西南学院小学校の子どもたちの多くは、チャペルや聖書の時間を通して、「祈る」ことを覚えます。自分の事だけでなく、家族や友達のこと、身の回りや世界で起こっている出来事について…お願いだけでなく、感謝も祈りのなかで捧げています。

「私の目には、あなたで高価で貴い。わたしはあなたを愛している。」と、神様が私たち一人ひとりに言ってくださっていることを繰り返し伝えていますが、自分が愛されていると実感できている子どもたちは、自分以外の方たちにも愛を届けたいと願って行動することに繋がっているように見えて感じます。お子様にかかわる時間をこれからもどうか大切になさってください。

9月29日の授業参観・後援会主催講演会にほぼ全員の保護者の方がご参加くださったことに心から感謝いたします。子どもたちの成長を大切に思っていच्छるからこそ、学校と一緒にできることを共に考えたいというも思ってくださいることがしっかりと伝わって参りました。今回講師の榊先生も保護者の方と一緒に考えることが何より子どもたちにとって大切と言われていました。保護者の皆さまのご理解とご支援・ご協力がないければ、学校運営は成り立ちませんので、今後ともどうか宜しくお願いいたします。

昨年1年生の保護者の方対象で行ったグレイスカフェは今年あるのでしょうかというお尋ねもいただき、嬉しく思っております。2年生の保護者の方を対象にしたものは、10月27日に開催を予定いたしております。詳しい内容は近日中に配布いたします。今年の1年生の保護者の方に向けても計画中です。もうしばらくお待ちください。

(文責 黒木佐幸)